



平成21年5月11日

各位

会社名 昭和ゴム株式会社
代表者名 取締役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 佐藤 一石
(TEL. 04-7131-0181)

有形固定資産の減損処理に伴う特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期において有形固定資産減損処理及び当社保有の株式の強制評価減を行い、特別損失が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 有形固定資産の減損処理額

昨年のリーマンショックに端を発した厳しい経済環境の中で当社の経営も厳しい状況の中にあり、改めて当社の所有する有形固定資産投資回収を検討しました。21年3月期、営業損失を継続して計上する見込みであること、現状の経済情勢の中、工業用品、食品、スポーツ用品などの既存顧客への販売情勢が22年3月期において不透明であることなどから、22年3月期以降、これらの設備から利益を生み出すことの確証は持てないと考え、保守的にすべての有形固定資産につきまして回収可能価格まで減損を行なうことといたしました。

世界の経済状況は引き続き厳しい状況が続くものと予想されますが、今後の設備投資につきましては、慎重な投資回収計算を行い適切な投資判断のもとに実施してまいります。

(千円)

	減損前簿価	減損額	減損後簿価
柏工場建物	79,477	79,476	0
柏工場構築物	4,516	4,516	0
工業用品及びボール製 製造装置等機械装置	432,781	432,780	1
運搬具	6,141	6,141	0
工具器具	50,275	50,275	0
合計	573,192	573,190	2

この度は、機械装置を中心に会計的に減損を行います。しかしながら、今後とも、これらの有形固定資産を最大限活用した新規商品を開発し、収益に貢献させる試みを続けてまいります。また、来期からの収益の構築を目指し新規顧客の獲得、さらなる原価低減への取り組みを続けていくよう、取締役をはじめ、全社員一丸となって尽力いたします所存であります。

2. 平成20年5月23日に公表した「ファイナンスによる調達資金の資金活用プロジェクトの進捗状況についてのお知らせ」に該当する設備に関し今回該当するものは以下のようになります。工業用品分野においては工場クレーン更新、工場照明設備更新、生産設備更新、食品医療用品におきましては精密型物生産設備増設、乳首生産設備更新、スポーツ用品におきましてはボール生産設備更新①、研究開発におきましては研究開発設備統合となっております。今後の設備投資の進捗状況につきましては計画が確定次第改めて公表いたします。

3. 今後の見通し

上記特別損失に伴う、通期の業績見込みにつきましては平成21年5月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上